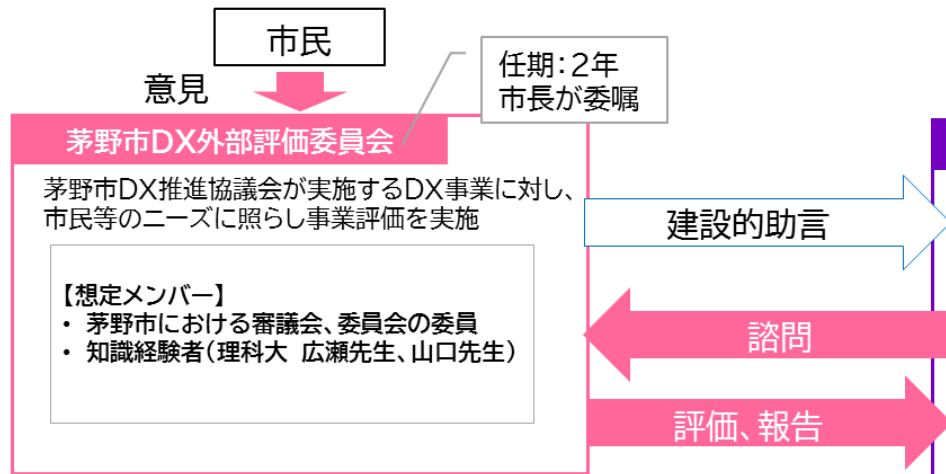


茅野市DX基本計画の 骨子について

DX推進協議会の事業イメージ図 (規約第3条)

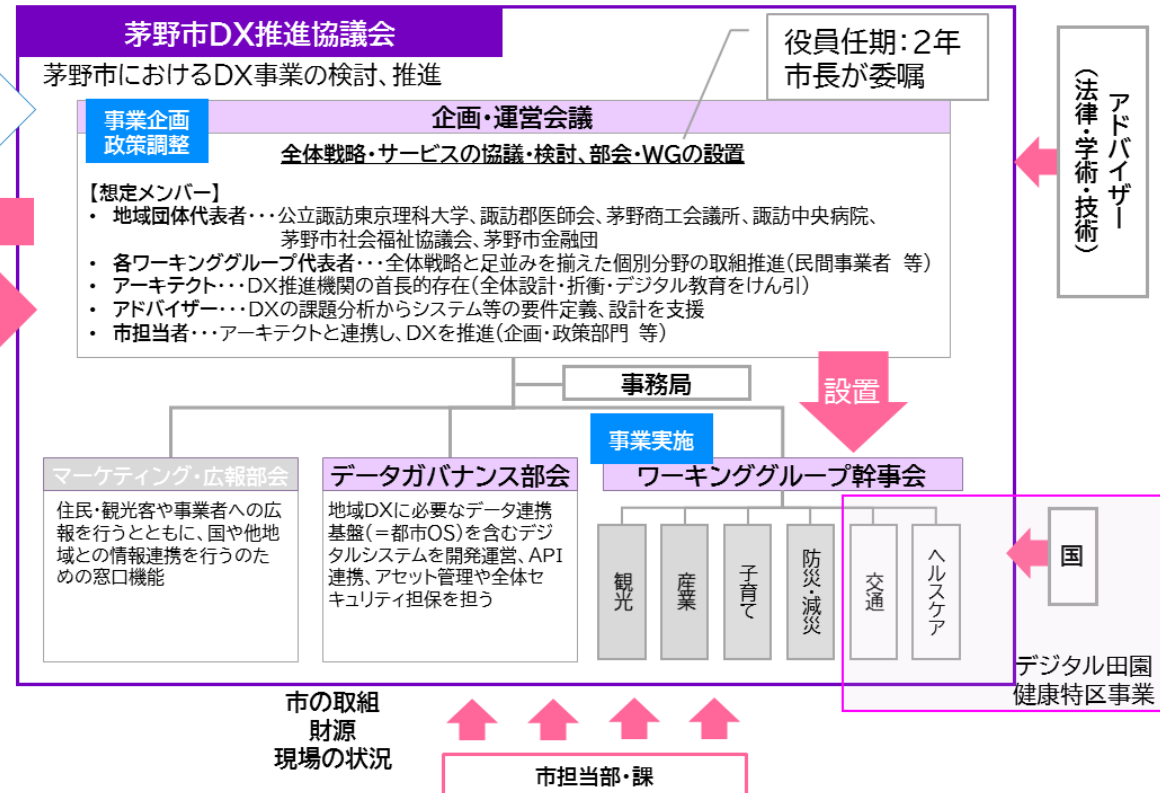
市民目線

市民目線から計画策定に対し建設的助言
(策定委員会的位置づけ)

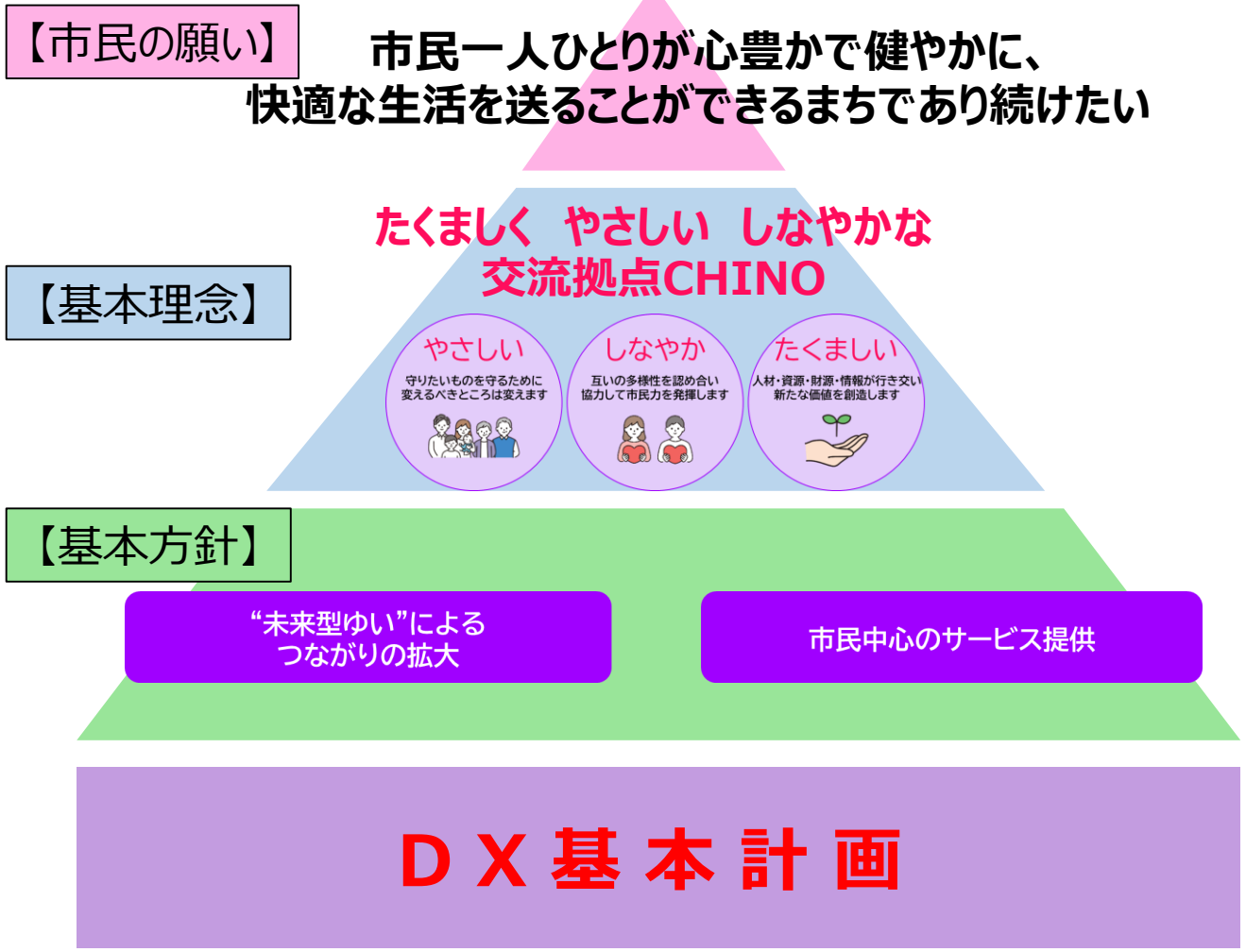


提供者目線

団体代表の立場から計画を承認



DX基本構想および基本計画の全体像



総論	DX展開の考え方（DX基本計画とは）	
	地域DXを安全に進める仕組み（4つの柱）	
	ルール作り	意見の反映・参加の促進
	学びの場の提供	データ連携
各論	地域DXの推進体制	
	課題解決に向けたDX化の手順	
	対象分野	
各論	実施事業・指標	
	ロードマップ	

DX基本計画の構成（案）

第1章 計画策定の背景 = DXで実現したい思い・世界観

第2章 計画の目的 = DX基本計画とは

第3章 総論

第1節 地域DX展開の考え方

第2節 安全・確実にDXを進める仕組み（4つの柱）

（1）ルール作り

（2）意見の反映・参加の促進

（3）学びの場の提供

（4）データ連携

第3節 地域DXの推進体制

第4節 課題解決に向けたDX化の手順

第4章 各論

・対象とする分野

・実施事業及び指標

・ロードマップ . . .

第1章 計画策定の背景

記載事項

DXで実現したい思い・世界観

内容の方向性

**「市民一人ひとりが心豊かで健やかに、
快適な生活を送ることができる、
まちであり続けたい」**（DX基本構想）

第2章 計画の目的

記載事項

DX基本計画とは

内容の方向性

- ・ 市民が幸せになるために、なにをDX化すべきか
- ・ 市民一人ひとりがDXを**自分事化**していくためには

第3章 総論

第1節 地域DX展開の考え方

記載事項

何をDX化し、何を残していくのか（人がやるべきこと）といった基本的な考え方

内容の方向性

- ①人（対人業務/人がやるべき仕事）とデジタル（対物業務/置き換え）の関係を市民が主体的に判断する。
- ②「協調領域と競争領域」、「公共と民間」の最適化
- ③社会変化、時代変化に合わせて、①と②ともにその在り方について問い続ける、市民が自分で判断する。

第3章 総論

第2節 安全・確実にDXを進める仕組み（4つの柱）

（1）ルール作り

記載事項

市民が安心して“DX”の取組に参加できるように、国や国際的な団体が提唱するルールを参考に、人権に考慮した**茅野市ルール**について

内容の方向性

茅野市民へわかりやすく説明でき、共有しやすい内容としていく

第3章 総論

第2節 安全・確実にDXを進める仕組み（4つの柱）

（2）意見の反映・参加の促進

記載事項

市民の不安を解消し、安心して“DX”の取組に参加いただけるよう、**目的の共有や意見交換の場**の提供や“DX”の取組を評価し、いただいた意見を**改善につなげる仕組み**について

内容の方向性

- (例)
- ・ デジタルツールを用いた時間や場所にとらわれない意見集約方法
 - ・ サイレントマジョリティの声の取得方法
 - ・ 世代に合わせたデジタルサービスや便利さの提供

第3章 総論

第2節 安全・確実にDXを進める仕組み（4つの柱）

（3）学びの場の提供

記載事項

デジタル技術やデータの活用に対して、希望する全ての市民が**必要とする知識や技術を身につけられる、様々な学びの場**について

内容の方向性

市、行政区、学校など様々な場面を想定し、先行自治体の事例なども参考に検討

- (例)
- ・ 公民館活動を通じた学習
 - ・ 地域コミュニティでの草の根運動（過去の例：ゴミ分別講習会@100区公民館）
 - ・ 市の講座開催

第3章 総論

第2節 安全・確実にDXを進める仕組み（4つの柱）

（4）データ連携

記載事項

市民が自らのデータを必要なときに、正しく素早く利用できるように、また、市民自らがいつでもそのデータを確認し、コントロールできるような**オープンで安全なデータ連携基盤**について

内容の方向性

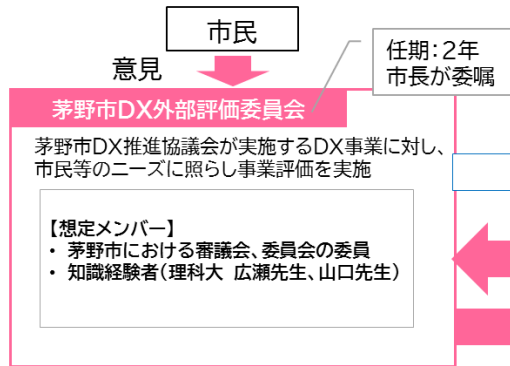
- ・都市OSを基盤としたアプリ間の連携による新たなサービスの提供
- ・持続可能な事業にしていくためのビジネスモデルの検討、実施
- ・データの分散管理

第3章 総論

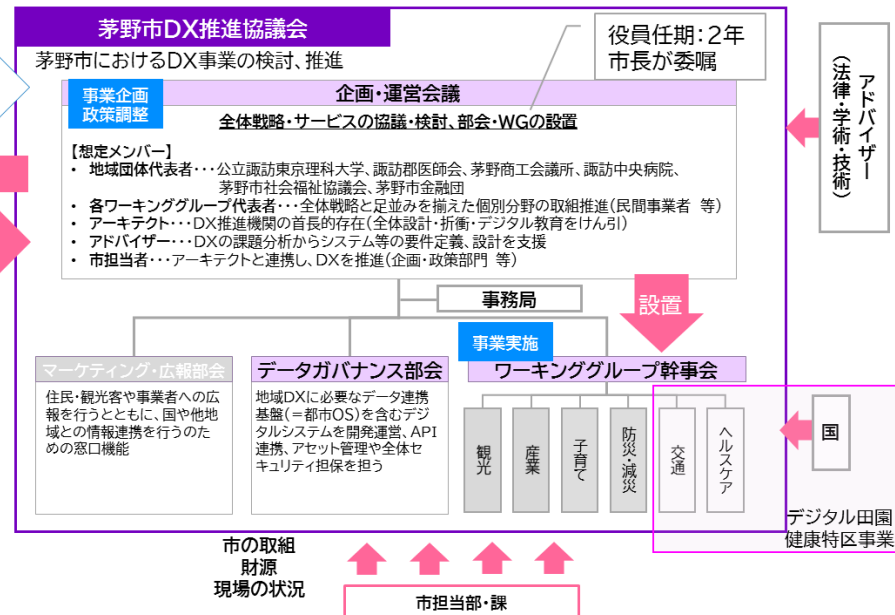
第3節 地域DXの推進体制

記載事項

市民目線
市民目線から計画策定に対し建設的助言
(策定委員会的位置づけ)



提供者目線
団体代表の立場から計画を承認

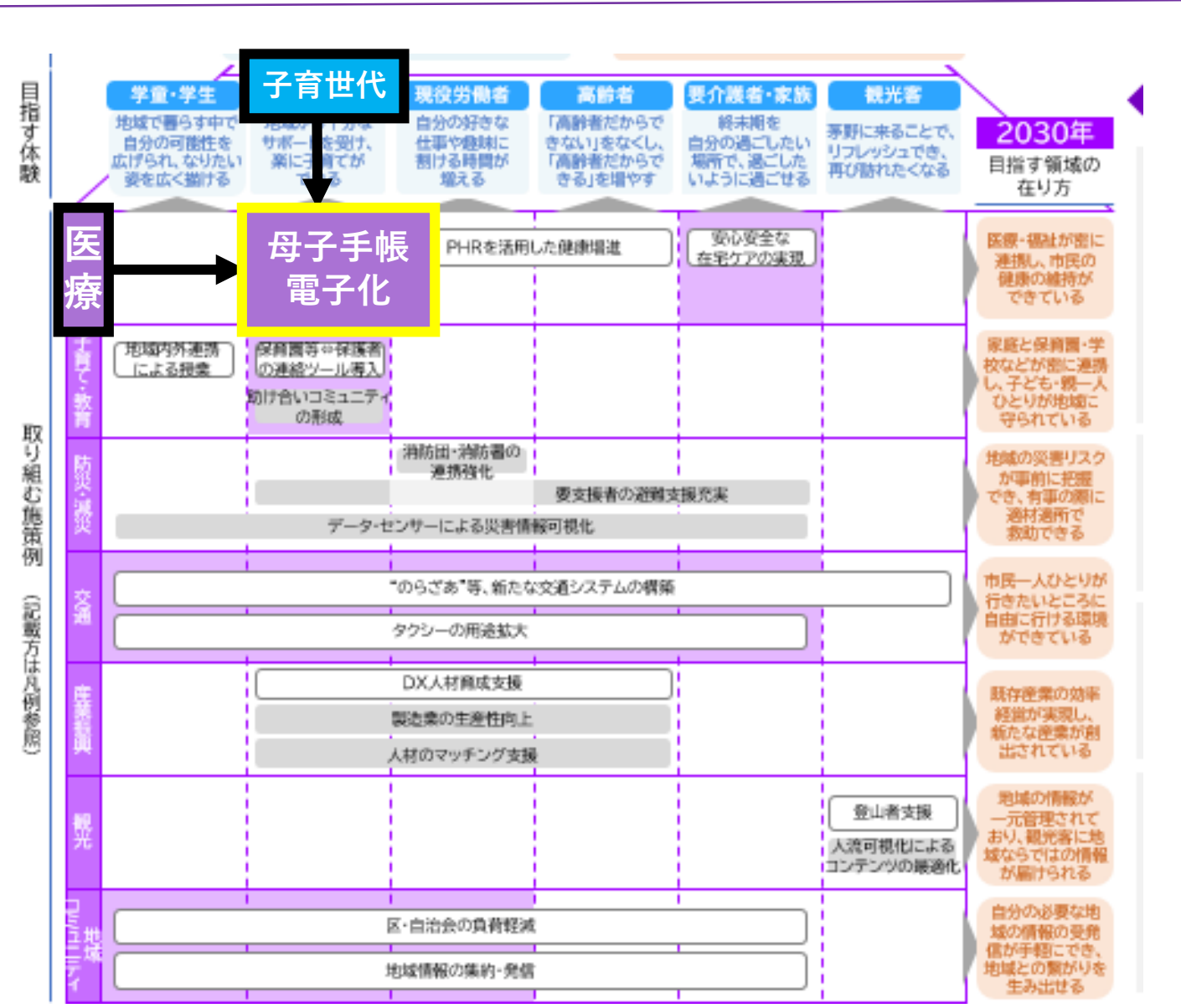


第3章 総論

第4節 課題解決に向けたDX化の手順

記載事項①

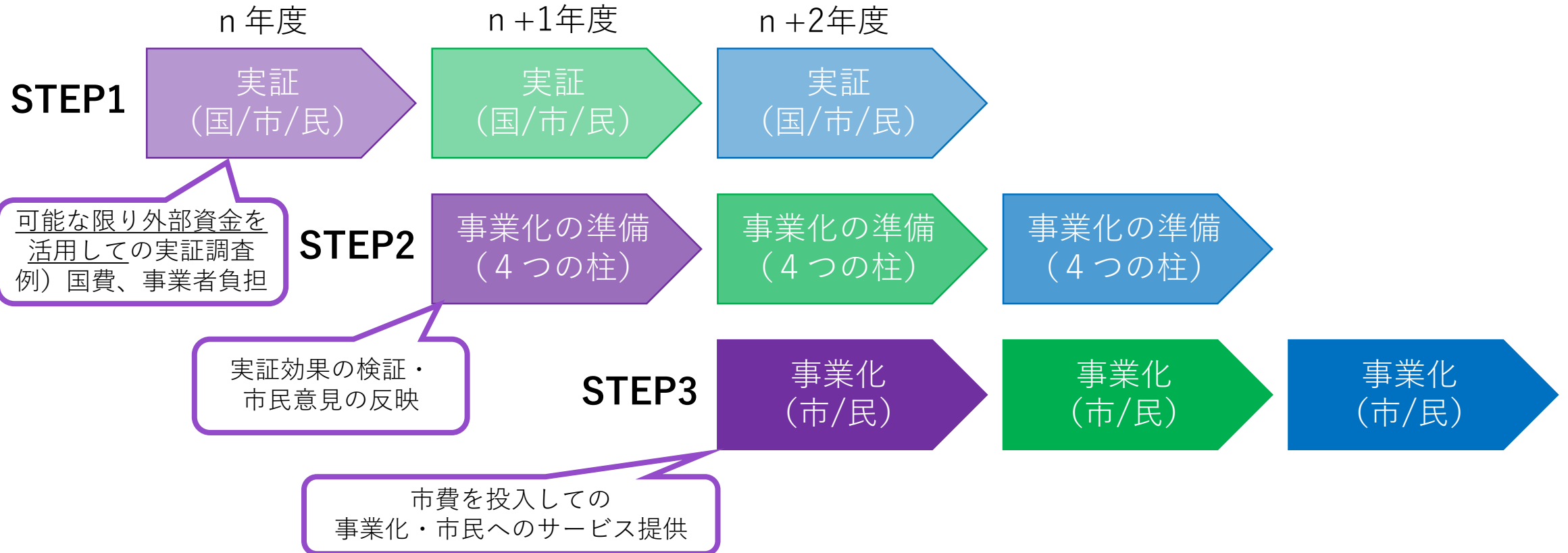
サービスを提供する対象者と取り組む分野を定め、実施事業、事業の優先度、事業化までのステップ（記載事項②）を整理し、実行に繋げるまでの手順。
 （例）サービスの対象者（子育て世帯）、分野（医療・福祉）
 => 実施事業（母子手帳の電子化）



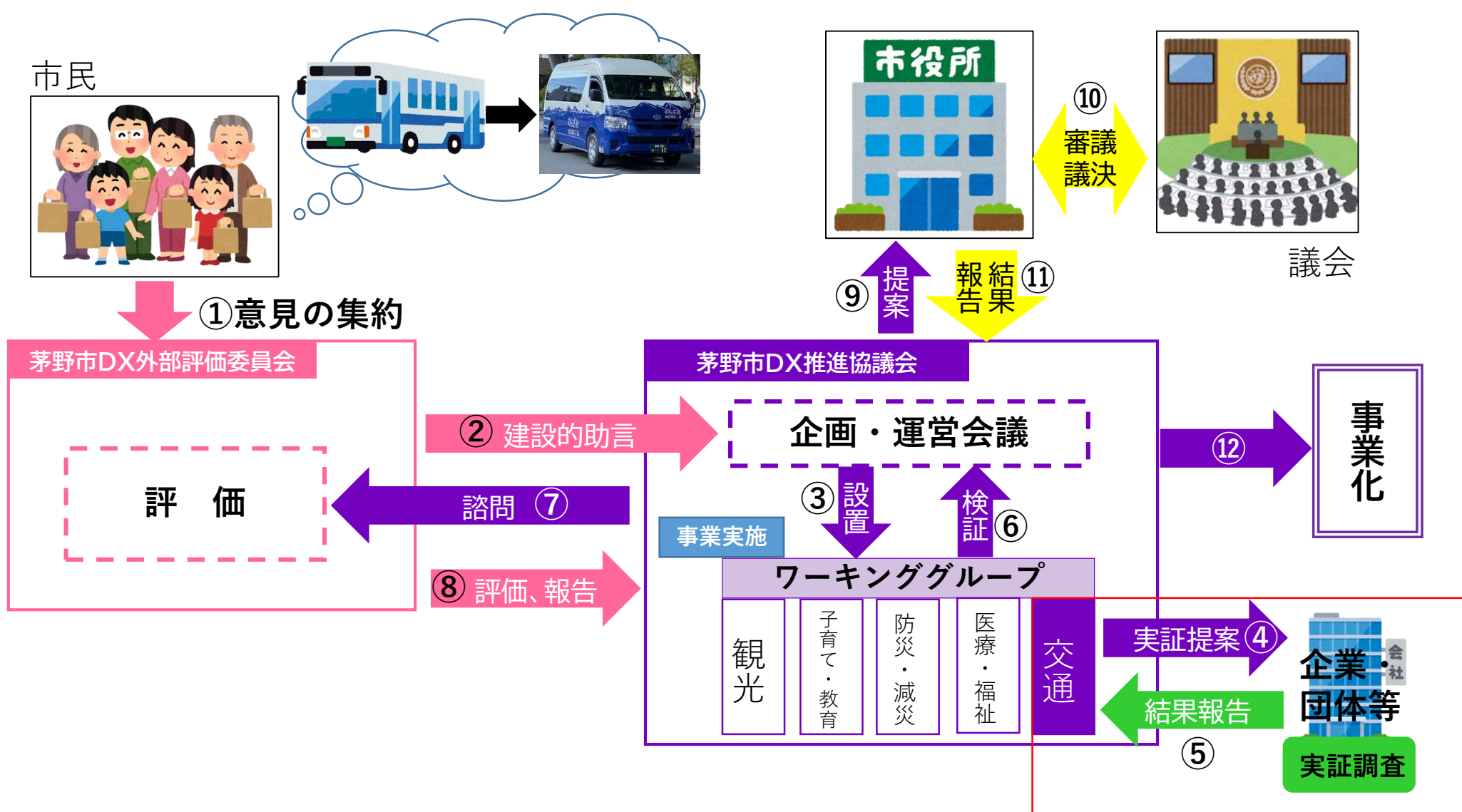
第3章 総論

第4節 課題解決に向けたDX化の手順

記載事項② 事業化までのステップ



記載事項③ 事業化までの推進協議会⇔外部評価委員会の相互関係（将来ビジョン）



第4章 各論

記載事項

- ・対象とする分野
- ・実施事業及び指標
- ・ロードマップ

など

【参考】外部評価委員会における今後の検討について

○計画検討の流れ（予定）

- 8/22 構想の想い、計画の位置づけ、今後の進め方の確認
- 10/5 4つの柱の検討
- 10月 地域DXの展開の考えかた
- 11月 //
- 12月 推進体制
- 1月 課題解決する手順（マトリクス）
- 2月 思い・世界観
- 3月 **【総論検討終了】** 参考：**【総合計画策定】**
- 4月 総論をパブリックコメント、議会報告の上市民広報
第1期計画各論検討開始

○検討方法

- ・月1回の委員会開催を基本とする。
- ・議論を加速するため、各会議の間については、オンラインツール（Teams）を活用する。
- ・専門的事項については専門分科会を設置し、専門家等にもご参加いただく。
- ・検討の過程や方向性は随時協議会へ報告していく。